G-scan

モバイルプリンタ　取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
いつでも活用できるように大切に保管してください。

G-scan 安全にお使いいただくために

●本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本書ならびに添付のその他の取扱説明書をお読みください。
●本書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取り扱いについて、次の記号で警告をしています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性または、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

警告

	万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切り、感電や火傷に注意しながら速やかにバッテリーを取り外してください。火災や感電の原因となります。そして異常が継続していないことを確認して販売店または弊社にご相談ください。お客様による修理は危険ですので絶対にしないでください。
	プリンタを分解または改造しないでください。 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。
	プリンタは水などで濡らさないでください。また、異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。感電や火災の原因となります。すぐに電源を切り、感電や火傷に注意しながら速やかにバッテリーを取り外してください。そして販売店または弊社にご相談ください。
	指定以外のバッテリー充電器、バッテリーは使用しないでください。液もれ、破裂、発熱、発火の原因となります。
	ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを乗せたりしないでください。ケーブルに傷がついて火災や感電の原因になります。ケーブルに傷がついた場合は使用しないでください。
	バッテリーを火の中に投げ入れたり、加熱したりしないでください。破裂、発火するなどして、火災や大怪我の原因となります。
	バッテリーを水や海水に浸けたり、雨滴などで濡らさないでください。液もれにより火災の原因になります。万一、濡れた場合は直ちに使用を止めてください。
	バッテリーは絶対に、分解しないでください。液もれ、破裂、発熱、発火の原因となります。

禁止	バッテリーの端子を、絶対にショートさせないでください。発熱発火または感電の原因となります。
禁止	バッテリーを直射日光の当たる場所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所（５０℃以上）で使用したり放置しないでください。発熱、発火するなどして、火災や事故の原因となります。
指示	バッテリーの充電は、必ず当社指定の充電器を使用してください。液もれ、破裂、発熱、発火の原因となります。
禁止	バッテリーから液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけ、使用しないでください。
指示	バッテリー充電時に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、直ちに充電を止めてください。液もれ、破裂、発熱、発火の原因となります。
指示	バッテリーの液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに洗い流してください。

⚠ 注意

禁止	不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いたところ等）に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。
指示	感熱紙は、弊社指定サイズの感熱紙をお使いください。指定以外の感熱紙をお使いになりますと、上手く印字されない場合があります。（注１）
指示	紙詰まり等のトラブル時は電源を切ってから処理を行ってください。感電の原因となります。
禁止	カバーを開けたままでご使用にならないでください。粉塵などにより故障の原因となります。
禁止	印字後は、印字ヘッドやペーパーカッターには直接手を触れないでください。高温のため火傷をする危険があります。
指示	バッテリーパックの充電は必ず、５℃～４０℃の範囲で行ってください。液もれ、破裂、発熱、発火の原因となります。
指示	バッテリーパックの端子が汚れていたら、乾いた布で拭き端子をきれいにしてからご使用ください。汚れたままでご使用になりますと、プリンタとの接触が悪くなり発熱の原因となります。

注1：弊社または、販売店にお申し付けください。

目次

ご使用に際して

設置場所

次のような場所での使用や保管は、故障の原因となりますのでさけてください。

1）ホコリ、粉塵の多い場所

2）強い振動のある場所

3）水分、油分の多い場所

4）直射日光があたる場所

5）温度が50℃以上の場所

6）温度が0℃以下の場所

7）電磁ノイズ、腐食性ガスの発生する場所

8）湿度が80％以上の場所

9）急激な温度変化があり結露が考えられる場所

感熱紙のお取扱いについて

感熱紙は表面が化学薬品で特殊処理されており熱化学反応で発色するようになっている特殊紙です。以下の点に十分ご注意ください。

1）乾燥した冷暗所に保存してください。

2）固いもので強くこすると発色する場合があります。

3）有機溶剤に接触させると発色する場合があります。

4）塩ビフイルムに長時間接触させると退色します。

5）複写直後のジアゾ及び湿式コピーと重ねると変色します。

6）糊付けする場合は水性の糊（澱粉系の糊、合成糊等）をご使用ください。

7）粘着テープは感熱紙を変色させる事があります。裏面を両面テープ等で止めるようにしてください。

8）汗ばんだ手で触れますと指紋が付いたり、印字がぼける事があります。

9）お客様に手渡す領収書などに使用する場合は、感熱紙であることを明記し、保存法などの注意事項ご説明ください。

充電方法についての注意事項

１）付属のバッテリー以外の充電にはお使いにならないでください。

２）バッテリーはしっかり取り付けてください。

３）充電は振動のない場所で行ってください。

４）バッテリーは十分に充電してあっても、少しずつ自然に放電してしまいます。なるべく使用直前（１～２日以内）に充電してください。

５）充電が完了しましたら、２４時間以内に充電器から取り外すことをお勧めします。

充電器のお取扱について

１）充電器をコンセントにつないでいる時は、金属端子部に他の金属類が触れないようにしてください。

２）使用後は、必ずコンセントから抜いてください。

３）分解したり改造したりしないでください。

４）強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

５）使用中は温かくなりますが、異常ではありません。

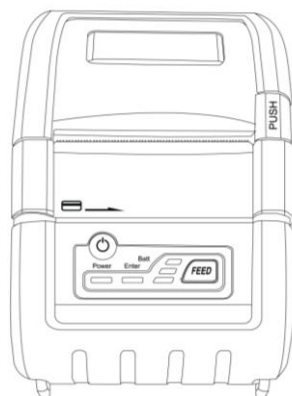
６）AMラジオにあまり近づけないようにしてください。AM放送に雑音が入ることがあります。

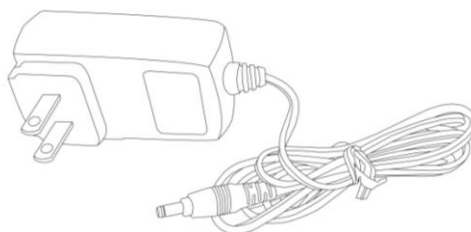
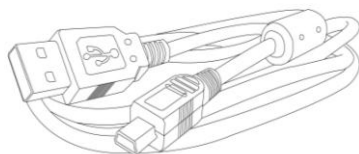
７）ビデオ機器に近づけると画面に妨害が現れる場合があります。このような時は少し離してお使いください。

８）次のような場所には置かないでください。極端に暑い所や寒い所、ほこりの多い所、湿気の多い所激しい振動のある所。

本体と付属品の確認

次の物が揃っているかお確かめください。

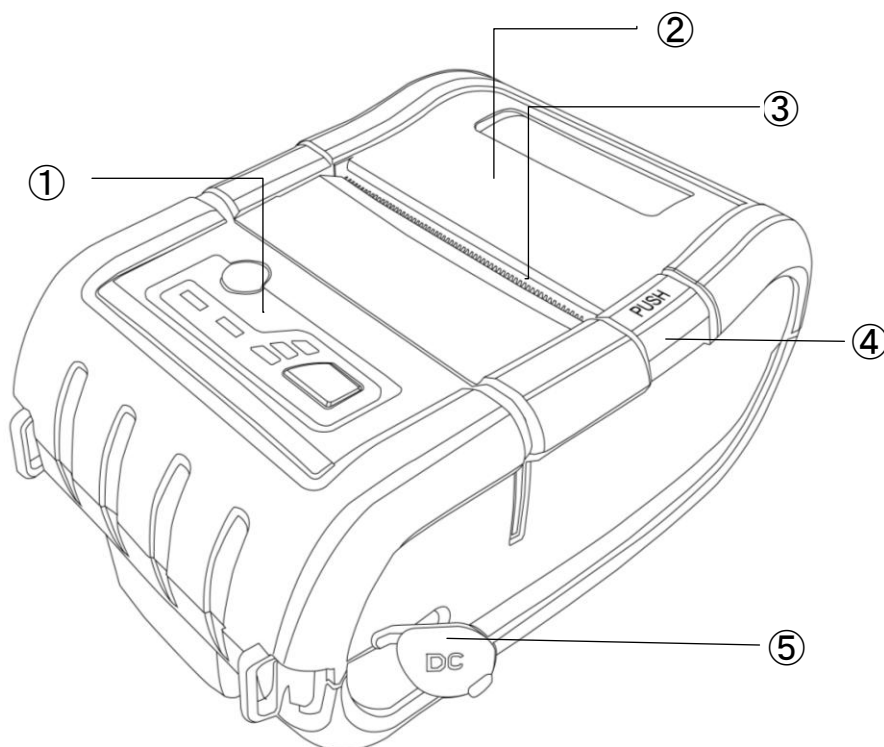
・プリンタ（型式：ＬＫ－Ｐ２０）･･･１台

・ バッテリー･･･１ 個

・ 充 電 器･･･１ 台

・ＵＳＢケーブル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１本

・感 熱 紙・・・１巻
［紙幅58mm・ロール径40mm］　　（本体内蔵済み）

・ベ ル ト 留 め・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１個

・取 扱 説 明 書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１部
［クイックスタートガイド］

・保 証 書・・・１部

上面及び右側面

① オペレーションパネル
10ページ参照

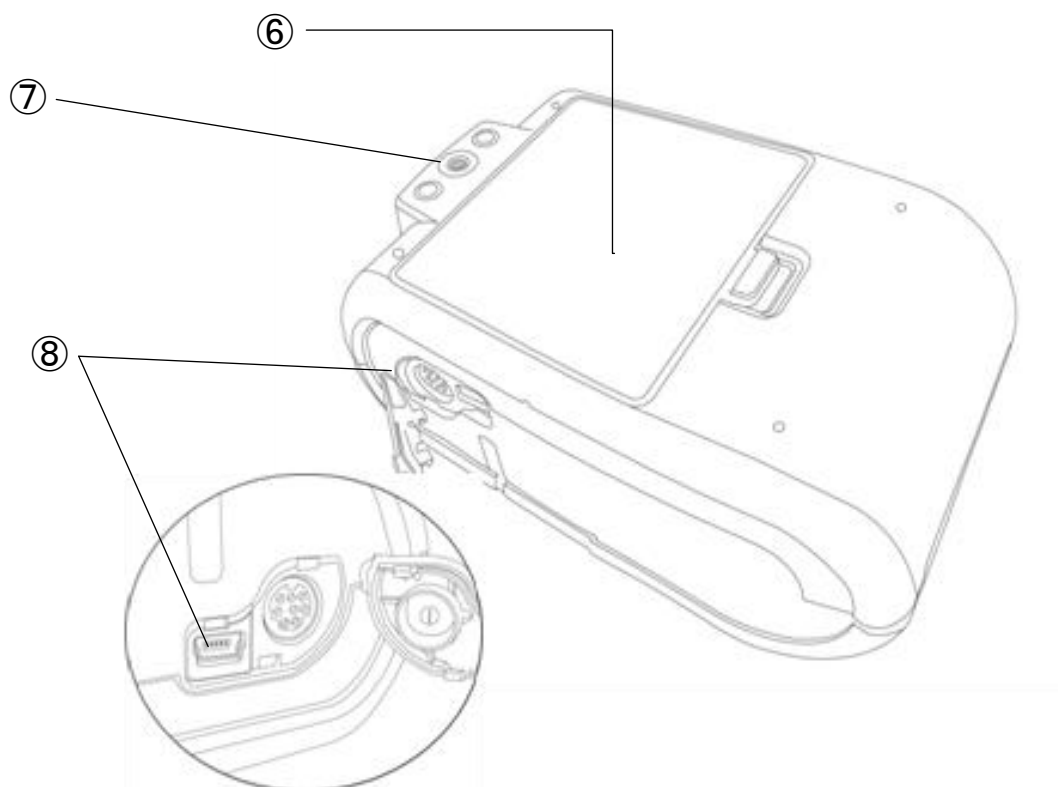
② ペーパーカバー
用紙セット時に、開閉します。

③ ペーパーカッター
用紙の切り取りに使用します。
用紙がペーパーカッターに確実に触る角度で端からゆっくり引き上げてください。

④ カバー開放ボタン
ペーパーカバーを開けるのに使います。

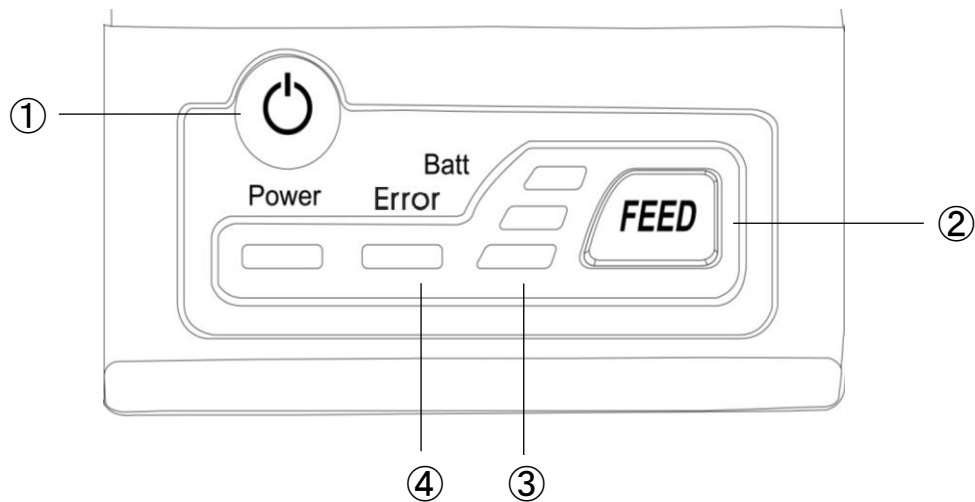
⑤ DCジャック
バッテリー充電のためにアダプターを接続します。

※磁気ストライプカードリーダーは、対応しておりません。

背面及び左側面

⑥ **バッテリー**
取り外し可能

⑦ **ベルト留め用ネジ穴**
プリンタをベルトに掛けるためのベルト留めを取り付けるためのネジ穴。

⑧ **USBポート(ミニ)**
ＵＳＢケーブルでＧ－ｓｃａｎと接続します。

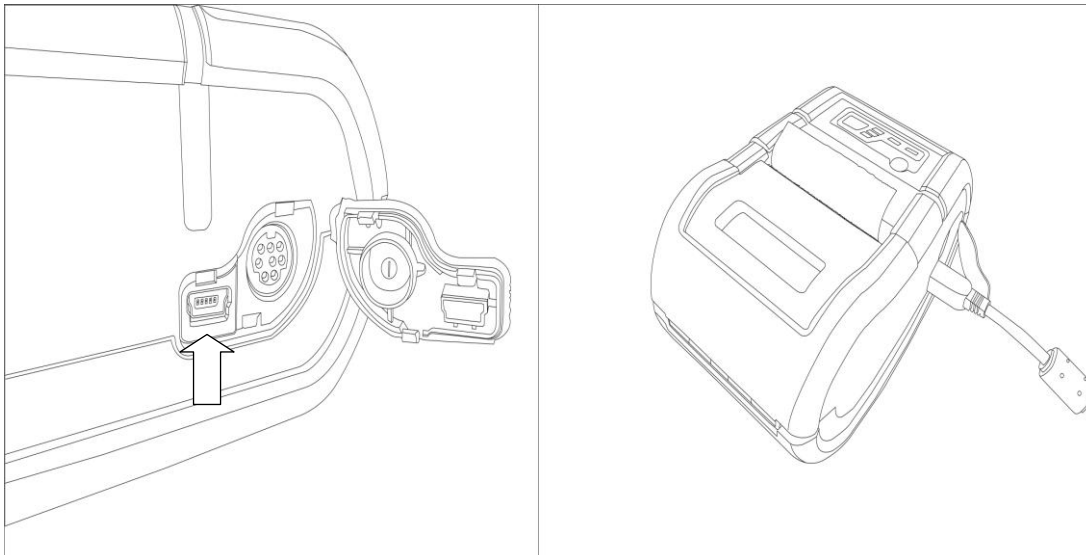
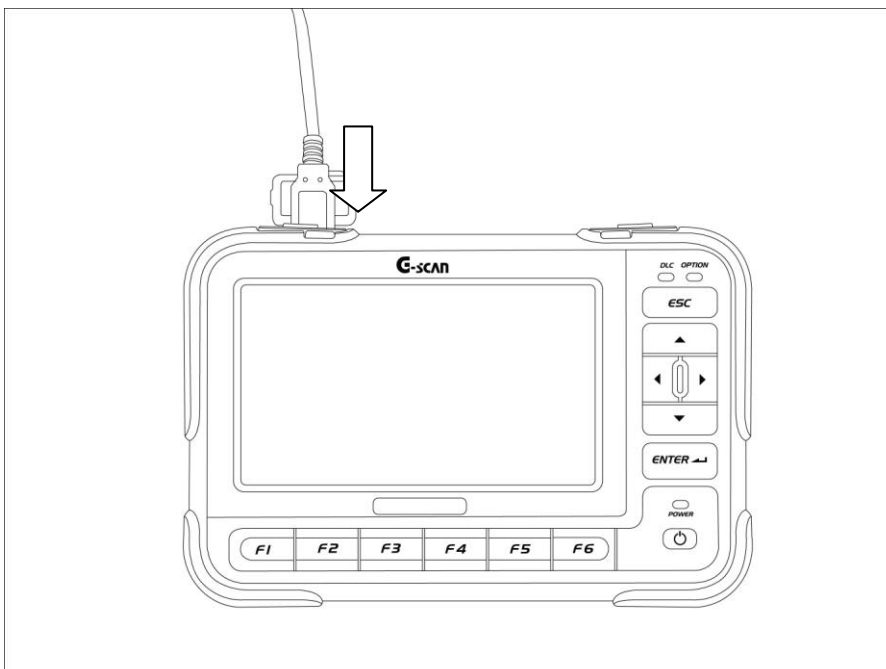
オペレーションパネル

① 電源スイッチ
電源スイッチを約3秒間押すと電源が入ります。電源を切る場合はＬＥＤが消灯するまで電源スイッチを押してください。（電源ＯＮ／ＯＦＦ時にはブザーが鳴ります。）

② ＦＥＥＤ（フィード）スイッチ
ＦＥＥＤ（フィード）スイッチを押すと用紙が送られます。
セルフテストを行う際もこのスイッチを使います。

③ バッテリーステータスＬＥＤ
バッテリーの充電残量に応じてＬＥＤが点灯し、３つ点灯している場合はフル充電状態です。
１つも点灯せずに、ブザーが鳴る場合はすぐに充電をする必要があります。
バッテリー残量が非常に少なくなると、自動的に電源が落ちます。

④ エラーＬＥＤ
用紙切れ、もしくはカバーが開いているのを検知して赤いＬＥＤが点灯します。

プリンタの接続

（1）プリンタにUSBケーブルを接続します。

（2）USBケーブルをG-scanに接続します。

モバイルプリンタ印刷方法

プリンタをG-scanに接続し、印刷したい画面で下記のプリントボタンをタッチしてください。

プリント機能を使用できるのは、以下の診断メニューです。

- 自己診断
- フリーズフレームデータ
- アクティブテスト
- データ表示（グラフ表示中は不可）

※「OBD-Ⅱ診断」ではプリント機能は使用できません。

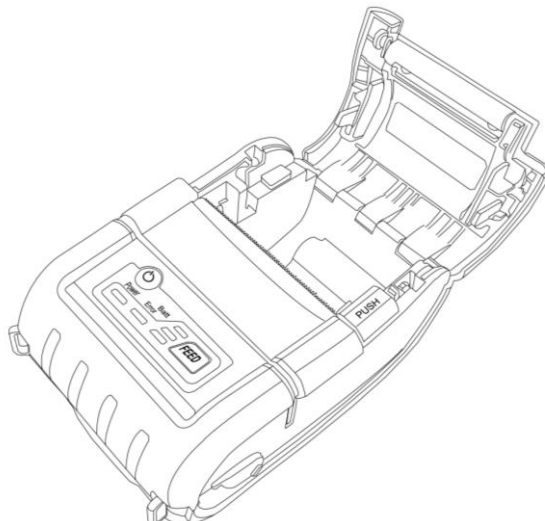
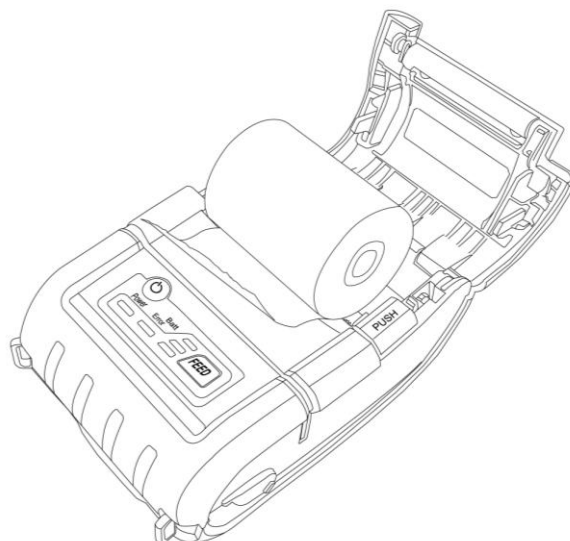
セルフテスト

電源ＯＦＦの状態で、ＦＥＥＤボタンを押したまま、電源ボタンを押し、そのままの状態でブザーが鳴るまで保持してください。印刷が始まります。
※セルフテストは、G-scanと接続する必要はありません。

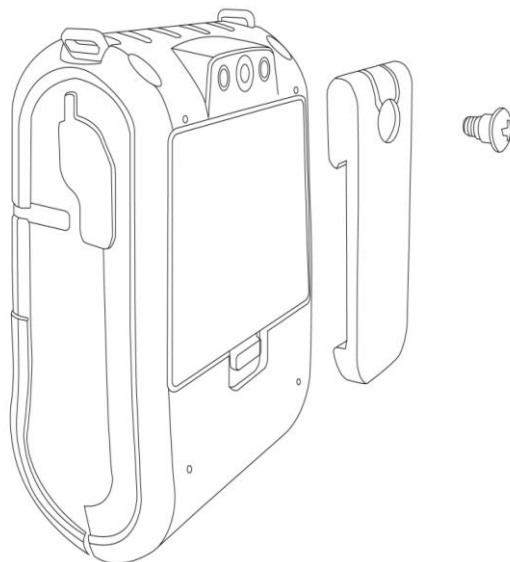
印字テスト

セルフテスト終了後３０秒以内にもう一度ＦＥＥＤボタンを押すと、ASCII文字パターンを印刷します。
ASCII文字パターン印刷後、印字テストは自動的に終了します。
３０秒以内にＦＥＥＤボタンを押さない場合も自動的に終了します。
３０秒以内にＦＥＥＤボタンを１秒以上押した場合は、１６進ダンプ印刷モードに移行します。
１６進ダンプ印刷モードでは、G-scanから１６進で受信したデータを印刷します。
電源をＯＦＦにすると、１６進ダンプ印刷モードは終了します。

感熱紙の交換

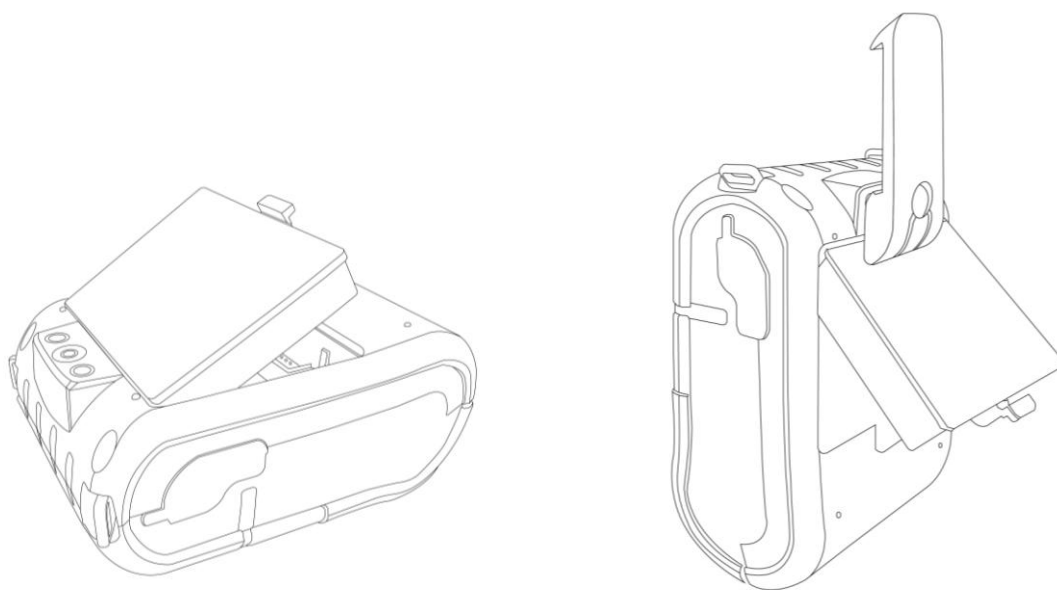
（1）カバー開閉ボタンを指で押し、ペーパーカバーを開けてください。

（2）図のように感熱紙をセットします。感熱紙には向きがあるので、間違えないようにしてください。
※感熱紙に糊が付いている部分（シールが貼られていた部分）がある場合、印字ができませんので、その部分はカットしてお使いください。

（3）感熱紙をセットしたら、ペーパーカバーの中央を押し確実に閉めてください。プリンタの電源が入っている場合、カバーを閉めると2～3mmほど紙送りします。しまっていない場合エラーLEDが点灯します。

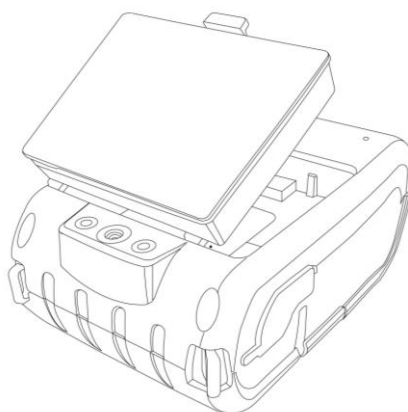
注意	印字後は、プリントヘッドには直接手を触れないでください。高温のため火傷をする危険があります。

ベルト留めの取り付け

ベルト留めにネジを通しドライバーで締め付けてください。

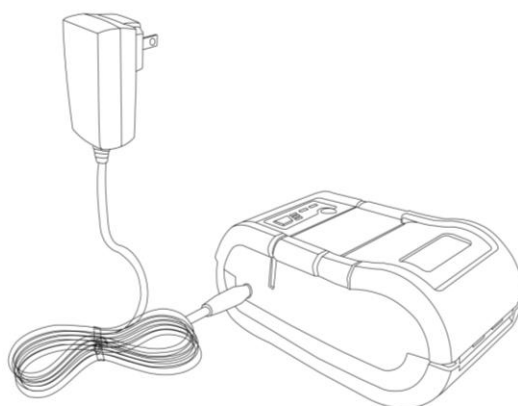
注意	ベルト留めは、必要に応じて取り付けてください。 ネジの締め付け過ぎには、ご注意ください。

取り外し

レバーをバッテリー側に引っ張りながら、プリンタ本体からゆっくり持ち上げます。
ベルト留めをご使用の場合、下図のようにベルト留めを回転させて取り外してください。

取り付け

二カ所のツメをプリンタ本体に引っ掛けながらバッテリーをプリンタ本体側に押し込み、レバー部分がカチッと音がするのを確認してください。

注意	バッテリーを脱着する際には、バッテリーを足などに落とさないようご注意ください。

充電する場合は必ず付属の充電器をご使用ください。付属の充電器以外をご使用になりますと、バッテリーの発熱、破損、液漏れ、プリンタの故障の原因になります。

（1）充電器のプラグをプリンタのDCジャックに差し込みます。

（2）充電器をコンセントに差し込みます。

（3）充電器のLEDが赤に点灯している場合は充電中、緑に点灯している場合は充電完了となります。（プリンタのLEDは点灯しません）

（4）LEDが点灯し、充電が始まります。

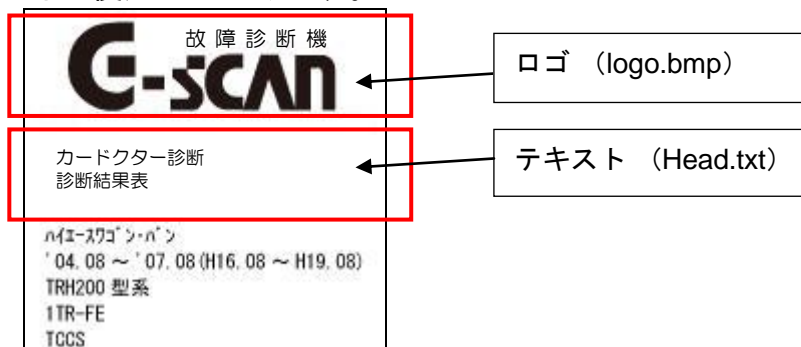
（5）充電が完了するとLEDが緑に点灯します。

	異常時	充電時	充電完了
ＬＥＤ	点　滅	点灯(赤)	点灯(緑)

（6）充電時間　　150分　（1度使い切ったバッテリーを充電した場合の時間）

注意	・充電中に異常が発生すると、LEDが点滅し、充電を中止します。 充電器をコンセントから外して、再度差し込んでください。正常に充電が始まるとLEDが点灯します。 ・充電中のプリンタのご使用は避けてください。

ユーザー設定

印刷する用紙のヘッダー部分を任意の社名などに変更できます
※ヘッダーの編集は、行わなくてもご使用いただけます。

＜図：印刷イメージ＞

G-scan本体からSDカードを取り外し、パソコンに接続してください。
インターサポート（弊社）のホームページにあります「**製品案内**」より「**モバイルプリンタ**」を選択していただきまして、ヘッダー編集用ファイルをSDカード内のフォルダ「**G-scan Image**」内の「**Data**」フォルダにダウンロードしてください。
※「**Data**」フォルダ内に二つのファイル（「Head.txt」「logo.bmp」）がある場合は、ダウンロードを行う必要はありません。

＜ダウンロード前＞

＜ダウンロード後＞

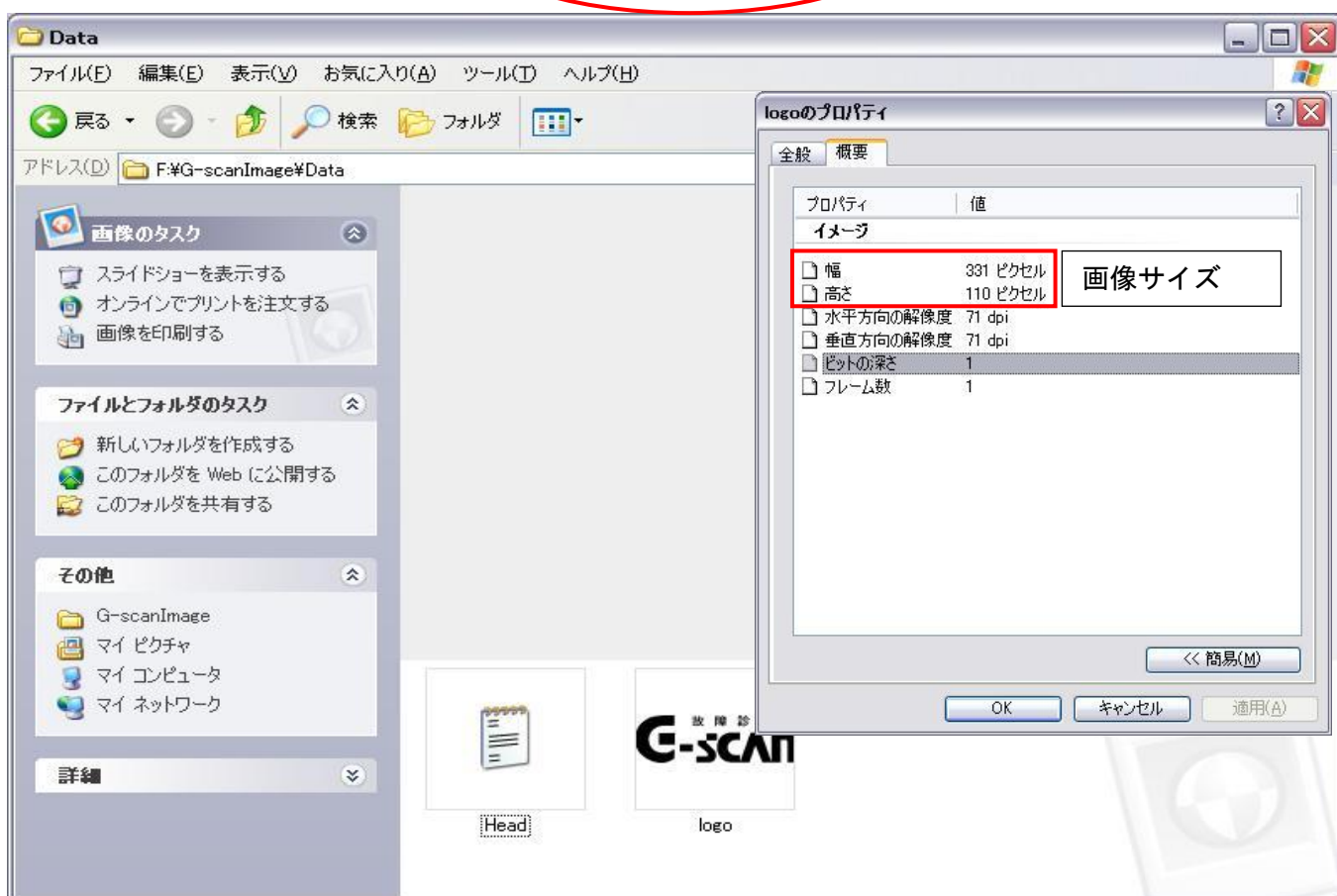
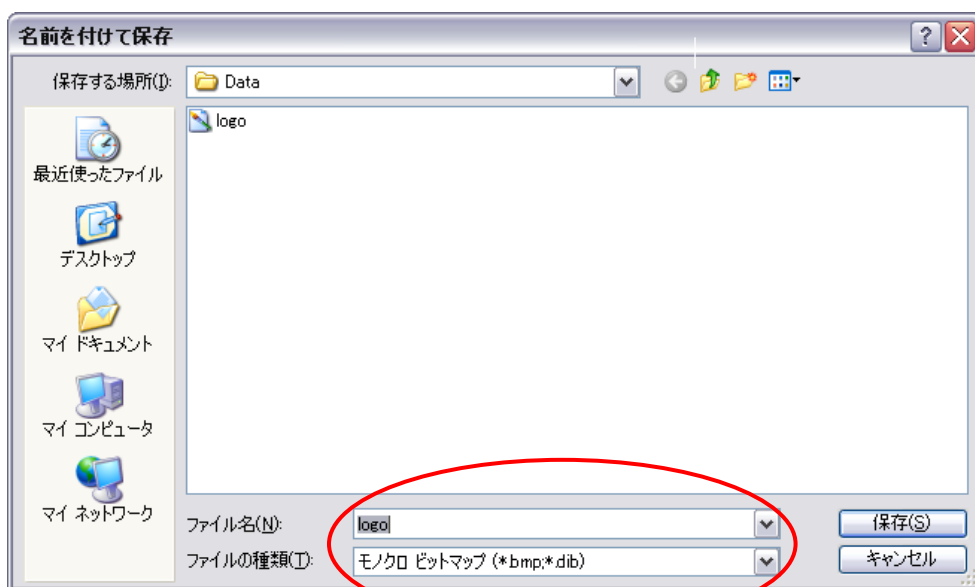
ロゴの変更方法

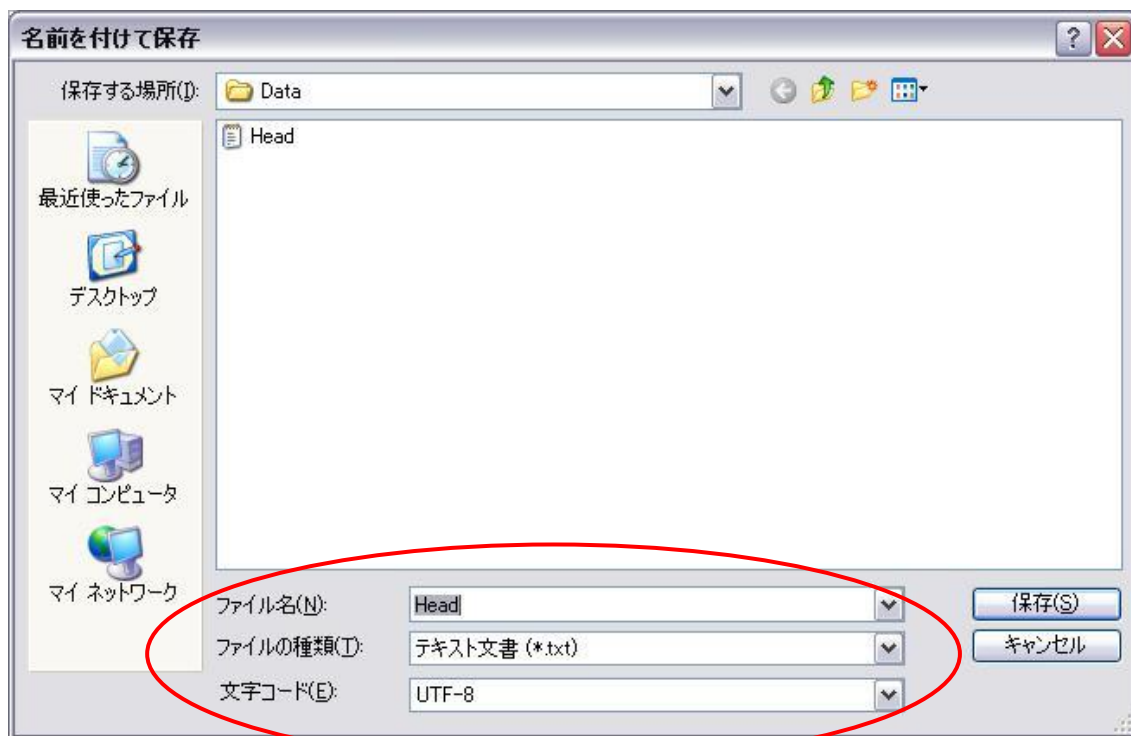
ロゴの画像を変更する場合、画像サイズとファイル名を下記の通り編集してください。

①ファイル名　　　　　　　　「logo」

②ファイルの種類　　　　　　モノクロビットマップ（＊.bmp）

③最大サイズ　　　　　　　　355ピクセル［横］×500ピクセル［縦］

※ポインタを画像に合わせて、右クリックでプロパティ選択してください。
　概要を選ぶと画像サイズを確認できます

テキストの編集方法

「**G-scan Image**」内の「**Data**」フォルダ内にあるテキストファイル（「Head.txt」）を開き、任意の文字に編集してください。
※最大サイズ＝全角16文字(半角32文字)×10行
編集後は下記の通り、保存してください。
ファイル名　　　　　　　　　「Head」
ファイルの種類　　　　　　　 テキスト文書(＊.txt)
文字コード(エンコード)　　　 ＵＴＦ－8

注意	ヘッダーの編集を行う場合は、ファイルの保存場所、ファイルの種類、ファイル名を指定通りにしてください。指定以外の内容で編集を行うと正常に印刷されません。 お客様のパソコン設定により、(＊.txt) （＊.bmp）等の拡張子は、表示されない場合があります。

プリンタの清掃

プリンタの表面が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは柔らかい布に中性洗剤を少し入れた水をつけ、よく絞ってから拭きます。その後、乾拭きしてください。

※シンナー、ベンジンなどの揮発性の薬品はプラスチックを傷めますので使用しないでください。
※プリンタの内部は絶対に水などで濡らさないでください。

ヘッドのクリーニング

電源をOFFにし、ペーパーカバーを開けます。
エチルアルコールを含ませた綿棒でヘッドの発熱体表面に付着した汚れやゴミを拭き取ってください。

※プリンタの使用直後は高温になっている恐れがあります。使用後は、時間をおいてからヘッドのクリーニングを行ってください。
ヘッドの発熱体表面を、直接手で触れたり、金属などで触れたりしないようにしてください。

主な仕様とその他

項　　目		仕　　様
印字方式		ダイレクトサーマル方式
印字速度		最大80mm／sec
解像度		203DPI × 203DPI
印字幅		48mm 384dot／lines
用紙	タイプ	感熱紙
	紙幅	58mm
	紙厚	0．06～0．09mm
	感熱紙径	最大40mm
	ロールコア径	12～13mm
信頼性	耐パルス性	5000万パルス以上（印字率12．5%）
	耐摩耗性	50Km以上
データ入力制御方式		シリアル入力（RS－232C）、USB
充電器	入力	AC100～240V、50／60Hz
	出力	DC8．4V、0．8A
バッテリー	充電時間	約150分
	タイプ	リチウムイオン
	出力	7．4V、1800mAh
作動条件	作動温度/湿度	0～＋50℃以下／35～80%
	保存温度/湿度	－10～＋60℃／10～90%
外形寸法／重量		93（W）×63（H）×138（D）（mm）／約450g（バッテリー含む）

その他
補充品、または別販売品です。
御用命の際は、弊社営業担当または、販売店にお申し付けください。

1）感熱紙　　　5P－58－40－12（専用紙型名）

※感熱紙は専用紙（5P－58－40－12）をご使用ください。
指定以外の用紙をご使用になった場合、印字品質やヘッドの寿命を保証できない場合があります。指定以外での用紙をご使用の場合は、トラブル発生にご注意ください。

2）バッテリー　　G1PDDNN013（リチウムイオン電池）

Ｇ-ｓｃａｎ　モバイルプリンタ取扱説明書

2013年6月 発行 第3版

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は、改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

編集・発行 株式会社　インターサポート

〒310-0836 茨城県水戸市元吉田町329-5
TEL 029(248)0616 FAX 029(248)1609